

トロッコ

2009年／116min.／Color

製作会社：トロッコ LLP

[スタッフ]

プロデューサー＝片原朋子、リャオ・チンソン

監督＝川口浩史

脚本＝川口浩史

脚本＝ホアン・シーミン

撮影＝リー・ピンビン

音楽＝川井郁子

[キャスト]

尾野真千子＝矢野夕美子

原田賢人＝矢野敦

大前喬一＝矢野凱

[あらすじ]

東京に住む矢野夕美子は、亡くなった台湾人の夫の遺骨を夫の生まれ故郷に届けるため、息子の「敦」と「凱（トキ）」を連れて、台湾中南部の山間の村にやって来た。都会育ちの子供たちは初めて見た父の故郷の田舎風景に目を丸くする・・・そしてそこには日本語を話す祖父母が待っていた。

決して歓迎されたものではなかった夫との結婚、夫の亡き後は片意地を張ったように強く強く生きようとしていた夕美子。そして自分たちと違うものに鋭く反応してしまう日本の社会の中で、どこか「はずれもの」のようになっていた敦——いつの間にかすれ違いが生まれていた母子だったのだが・・・時代とともに治世者が代わり、それに伴って「価値観」も激変するという近代史を乗り越えて、しなやかに強く生きる台湾の祖父母の優しさや、台湾の田舎町のおおらかな包容力の中で、家族は次第にその「絆」を取り戻していく。

そして、村の外れで見つけた「トロッコ」に乗り込んだ幼い兄弟は、その「小さな大冒険」を通して、家や学校以外の世界を知り、また自分以外の人を思いやることを学ぶ。

「トロッコ」はいつの時代も人々をささやかな冒険にいざない、そして忘れ得ぬ何かを、そっと人生に刻み込んで行く・・・。